進路だより

令和６年３月８日
岐阜盲学校
進路支援部 No.３

新たな門出に向けて・・・

小学部、高等部の皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。

これまでの学校生活を通して、様々な知識や経験を蓄えられ、入学時とは比べものにならないほど、大きく成長されたことと思います。こうして新たな門出を迎えられたこと、改めてお祝い申し上げます。

それぞれの学部で最高学年として在校生を引っ張り、自己実現に向けて努力する姿をみて、後輩たちも多くの刺激を受けたのではないかと思います。

新しい環境に慣れるまでは、大変な場面もあろうかと思いますが、どうか、お身体には気を付けて毎日をお過ごしください。そして、元気な姿を後輩たちに見せに来ていただければと思います。

４月からは、新たな場所や立場で、それぞれの生活がスタートします。在校生の皆さんについても、卒業後を見据えた自己実現に向けて、学校生活を大いに楽しみながら、勇往邁進していただきたいと思います。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

トピックス

４月１日から法定雇用率が引き上げられます

厚生労働省は、第123回労働政策審議会障害者雇用分科会（2023年１月18日開催）において、障がい者の法定雇用率を現状の2.3%から、4月1日に2.5%、2026年7月1日に2.7%へと段階的に引き上げる方針を発表しました。

この改正により、雇用義務のある企業が今より増えるとともに、これまで従業員43.5人以上に1人となっていた割合が、4月からは40人に1人となり、2026年には37.5人に1人となります。

県内でも企業との意見交換会の場で、特別支援学校に意見を求められることも多くなってきているほか、企業向けの障がい者雇用推進セミナーの参加者も年々増加しており、このような情勢の中でも、企業側で障がい者雇用に向けた体制づくりを進めていることがうかがえる状況となっています。

しかしながら、このようなチャンスがひろがっている一方で、働く側が一般教養や基礎学力、自立的な生活態度を身に付けておかなければ、採用されるべくもありません。また、毎日の小さな努力の積み重ねがなければ、安定した力を発揮することはできません。来るべき自らの進路実現に向けて、毎日の小さな努力の積み重ねを大事にしていきましょう。